

WIDE RANGE DODGEBEE COMPETITION

第5回 広域ドッジビーコンペティション
北関東大会 2015

実施報告書

平成 27 年 10 月 9 日



目次

1.	開催要項	_____	3
2.	参加チーム／人数 一覧	_____	4-5
3.	競技方法	_____	6
4.	最終成績	_____	7
5.	全体スケジュール	_____	8
6.	付帯イベント報告	_____	8
7.	講評	_____	9-12

別途資料

<全試合一対戦結果表>

お問合せは **日本ドッジビー協会 事務局**


住 所 : 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

T E L : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 6

F A X : 0 3 - 3 2 6 4 - 3 6 2 7

Mail : support@dbja.jp

1. 【開催要項】

名 称	—2015 おやまスポーツ・レクリエーションフェア メイン事業— 第5回 広域ドッジビーコンペティション 北関東大会 2015
日 程	平成27年10月3日 土曜日
会 場	栃木県立県南体育館 〒323-0042 栃木県小山市大字外城 371-1 TEL : 0285-21-2695 FAX : 0285-21-2697
主 催	日本ドッジビー協会
共 催	小山市教育委員会
後 援	栃木県 / 栃木県教育委員会 / 小山市 公益社団法人 全国子ども会連合会 下野新聞社 / 株式会社とちぎテレビ / テレビ小山放送 埼玉県/茨城県フライングディスク協会 栃木県/小山市ディスクゴルフ協会
協 力	小山市スポーツ推進委員協議会 白鷗大学 / 中央福祉医療専門学校 栃木県フライングディスク協会
特別協賛	文化シャッター株式会社 
協 賛	日本テトラパック株式会社 / 株式会社ヒーロー
部門/資格	すべて性別は不問 ①ディスクドッジ 小学生部門 /小学生 ②ディスクドッジ 中学生部門 /中学生 ③ディスクドッジ オープン部門 /年齢不問 ④ゴールドッジ部門 /中学生以上
表 彰	各部門、優勝/準優勝/3位のチームへ対して以下が授与。 ・共催者である小山市より、表彰状、表彰盾。 ・特別協賛社である文化シャッター(株)よりオリジナル・ドッジビー270。
参 加 賞	すべての参加者(選手申込者)に対して以下を各1ヶ、贈呈。 ・文化シャッター(株)ご提供 = マウスパッド ・日本テトラパック(株)ご提供 = エコ・ドッジビー270

2. 【参加チーム一覧】 全47チーム 636名

①小学生部門 23チーム 部門計327人

1	東京都	荒川区	Butterfly	13
2	東京都	荒川区	ウエストシックス	18
3	東京都	足立区	NDCそげキング	13
4	東京都	荒川区	ビクティニーズ	15
5	東京都	荒川区	ビクティニーズMAX	15
6	東京都	武蔵野市	M. D. C	17
7	栃木県	那須塩原市	チャンピオンDS-A	17
8	栃木県	小山市	小山第一小学校	15
9	栃木県	小山市	小山第二小学校	15
10	栃木県	小山市	旭小学校A	12
11	栃木県	小山市	旭小学校B	12
12	栃木県	小山市	大谷東小学校A	12
13	栃木県	小山市	大谷東小学校B	11
14	栃木県	小山市	大谷北小学校	19
15	栃木県	小山市	豊田南小学校A	13
16	栃木県	小山市	豊田南小学校B	13
17	栃木県	小山市	豊田北小学校	18
18	栃木県	小山市	羽川西小学校A	13
19	栃木県	小山市	羽川西小学校B	13
20	栃木県	小山市	梁小学校A	13
21	栃木県	小山市	梁小学校B	11
22	栃木県	小山市	小学校2校合同チーム	14
23	栃木県	小山市	小学校7校合同チーム	15

②中学生部門 14チーム 部門計193人

1	栃木県	宇都宮市	ビッグバン桜	13
2	東京都	調布市	Bee Star	12
3	台湾	台北市	ST. IGNATIUS HIGH SCHOOL	20
4	栃木県	小山市	小山中学校水泳部	16
5	栃木県	小山市	小山第二中学校剣道部・サッカー一部A	14
6	栃木県	小山市	小山第二中学校剣道部・サッカー一部B	15
7	栃木県	小山市	小山第三中学校卓球部	14
8	栃木県	小山市	小山城南中学校サッカー一部2年	11

9	栃木県	小山市	小山城南中学校サッカー一部1年	12
10	栃木県	小山市	乙女中学校男子バスケットボール部A	13
11	栃木県	小山市	乙女中学校男子バスケットボール部B	14
12	栃木県	小山市	間々田中学校紅組	13
13	栃木県	小山市	間々田中学校白組	12
14	栃木県	小山市	桑中学校ソフトボール部	14

③オープン部門	5チーム	部門計79人	計	大人	小人	
1	東京都	北区	TTV	18	9	9
2	東京都	足立区	NDCベックマン	12	9	3
3	台湾	台北市	YEN CHOU CHURCH Chinese	17	17	0
4	東京都	港区	Hero&CHUMS ディスク部	16	13	3
5	栃木県	小山市	文化シャッター小山工場	16	16	0

④ゴールドタッチ部門	5チーム	部門計37人	計	大人	小人	
1	東京都	武蔵野市	(中学生/一般) M. D. C	7	5	2
2	栃木県	小山市	(高校生)じょうなんLDK	5	5	0
3	神奈川県	川崎市	(大学生)個性ばんばんざい！！	8	8	0
4	台湾	台北市	(中学生)ST. IGNATIUS HIGHSCHOOL	10	0	10
5	栃木県	小山市	(大学生)白鷗大学	7	7	0

※ 本大会では日本ドッチビー協会による招待として台湾より遠征チームが参加した。

●チーム総合計 : **47チーム**

●参加選手総数 : **636名**

内訳/子ども 547名 (中学生以下)
/おとな 89名 (中学卒業以上)

●大会関係者総数 : **178名**

内訳/チーム監督コーチ 100名
/主要スタッフ 16名
/大会審判員 24名
/現地ボランティア 18名
/来賓その他 20名

◆大会関与者総合計 **814名**

◆観戦・引率保護者数約**500名**

大会関係者総合計 約1,300名

3. 【競技方法】

① ディスクドッチ 小学生部門 23チーム

試合時間 : 1試合3分を前・後半2セット

予選 : 5-5-5-4-4チームで構成した5つのリーグで総当たり戦

決勝トーナメント: 予選5チームのリーグ → 上位2チーム、

予選4チームのリーグ → 上位1チーム、計8チームが進出。

② ディスクドッチ 中学生部門 14チーム

試合時間 : 1試合3分を前・後半2セット

予選 : 4-4-3-3チームで構成した4つのリーグで総当たり戦

決勝トーナメント: 各予選リーグ上位2チーム、計8チームが進出。

※ ①小学生の4チームリーグ／②中学生の3チームリーグによるフレンドマッチ

リーグ戦段階で敗退したチーム同士による交流ゲームをおこなった。

③ ディスクドッチ オープン部門 5チーム

試合時間 : 1試合3分を前・後半2セット

予選 : 5チームで構成した総当たりリーグ戦です。

順位決定戦: ①予選リーグの3位と4位が3位決定戦をおこなった。

②予選リーグ1位と2位が決勝戦をおこなった。

④ ゴールドドッチ部門 5チーム

試合時間 : 1試合8分、前後半2セット ハーフタイム2分

予選 : 5チームで構成した総当たりリーグ戦です。

順位決定戦: ①予選リーグの3位と4位が3位決定戦をおこなった。

②予選リーグ1位と2位が決勝戦をおこなった。

● 全部門共通

- ・ 予選リーグ戦は勝ち点制を採用しますので、引き分けがあり。
- ・ 決勝トーナメントおよび順位決定戦が同点の場合、PT戦で勝敗を決した。
- ・ 決勝戦が同点の場合、すべて延長戦をおこない、勝敗を決した。

4. 【最終成績】

①【ディスクドッチ】小学生部門

優 勝	ウエストシックス	東京都荒川区
準優勝	ビクティニーズ	東京都荒川区
3 位	B u t t e r f l y	東京都荒川区

②【ディスクドッチ】中学生部門

優 勝	ビッグバン桜	栃木県宇都宮市
準優勝	C h i n e s e T a i p e i	台湾
3 位	B e e S t a r	東京都調布市

③【ディスクドッチ】オープン部門

優 勝	C h i n e s e T a i p e i	台湾
準優勝	N D C ベックマン	東京都足立区
3 位	T T V	東京都北区

④【ゴールドドッチ】部門

優 勝	M. D. C	東京都武蔵野市
準優勝	個性ばんばんざい！！	神奈川県川崎市
3 位	C h i n e s e T a i p e i	台湾

5. 【進行スケジュール】

- 8 : 40 ~ 9 : 20 参加チーム 受付
- 9 : 30 ~ 10 : 00 開会式・諸注意事項説明
- 10 : 12 ~ 12 : 48 予選リーグ戦 (10 : 12 第1試合 スローオフ)
- 12 : 50 ~ 13 : 40 メインアリーナにて<ドッチディスタンス記録会>
- 13 : 48 ~ 14 : 36 予選リーグ戦 再開
- 14 : 36 ~ 16 : 24 決勝トーナメント戦 / 順位決定戦
- 16 : 30 ~ 16 : 40 台湾チームによるデモンストレーションゲーム
- 16 : 40 ~ 17 : 00 表彰式・閉会式
- 17 : 00 参加者解散

6. 【付帯イベント】 報告

●ドッチディスタンス記録会

本大会参加希望チーム数が多く、本記録会の実施時間に制限を設けざるを得ず、以下の通り選抜方式を採用して実施。

- 選抜方法 : 本大会①~④全部門参加47チームから各1名代表選出して試技をおこなう。時間内に来場がない場合、辞退と判断。
- 実施会場 : メインアリーナ 全面を使用して2コート設置。
- 横幅制限 : 15メートルにて実施
- 参加者数 : 36名
- 試技方法 : ひとり1分以内に3投して、最長試投を計測。
日本ドッチビー協会制定ドッチディスタンス・ルールに準拠。

結果として1名が日本記録を樹立。

日本記録 : 中学2年生 女子の部 江川 藍未さん (東京都足立区)
旧記録 22投89球 新記録 27投02球

7. 【講 評】

10月3日、土曜日 第5回ドッチビーコンペティション北関東大会 2015 が
栃木県小山市にある、栃木県立
県南体育館でおこなわれました。

当日は朝から快晴！暑
くも、寒くもなく、絶
交の行楽日和。
予定時間には続々と参
加者とともに、
観戦客が集合。



チーム受付はスムーズに進行し、
順調な幕開けとなりました。

今大会の選手数は 636 名、
47 チームのエントリーがあり、
各チーム監督、コーチなど最低
2名としても約 100 名。として
考えると約 750 名のチーム関係者となりますが、
会場 2 F 観客席を見渡したところ、席数 1460 に
も関わらず空席が目立たないほどに埋まったことから、観客数は実数で 500 人
以上とみられました。



想定時刻通り、9時30分より開会式がスタート。
主催者／来賓挨拶ののち、小山市立小山第二中学校の
大瀧裕輝也君による選手宣誓がおこなわれ、その後
今大会の見所とも言える、招待チームとして来日した
台湾遠征チーム団を代表して台湾ドッチビー協会代表の
クアン・チェン氏の挨拶で終了しました。





フィールドはメインアリーナに、ディスクドッチコートを4面設置。全 92 試合となるすべてのゲームをこの4面で進行しました。



一方、ゴールドドッチはサブアリーナに専用コート1面を設置しましたが、許容スペースの関係から3位決定戦までの11ゲームをサブアリーナで1ゲーム4名にておこない、決勝戦のみ、メインアリーナのディスクドッチコート2面分を使った特設の決勝戦専用コートで1ゲーム5名にておこなう変則シフトで実施しました。



試合の全体所感として、試合開始前に各チームが円陣を組んでメンバーが足を踏み鳴らしながら、気合を入れるなどチームワークを重視する姿が多く見られ、大変印象的な光景でした。

また、やはり注目を集めたのは台湾チーム！

守備の際、隊形を組み、全員が腰を落とし構える姿は日頃の鍛錬がうかがえ、日本のチームにとっては新鮮に映ったのではないかと感じました。



試合結果は・・・

小学生部門において、ベスト4のうち3チームが東京都荒川区のチームとなり、結果ベスト3を独占！女子中心に構成されたチームながら「ウエストシックス」が21-11で見事、優勝。





中学生部門はまさかの展開が！
台湾チームが決勝戦 14-15 の 1 点差で敗れ、
宇都宮市から参加の「ビッグバン桜」が
堂々の優勝。
本当におめでとうございます！！

オープン部門はさすがの貫禄！
16-3 の大差で台湾チームが「NDCベックマン」
を相手に圧倒的な勝利を収めました。



ゴールドタッチは予選全勝 1 位の大学生チーム
「個性ばんばんざい！！」が中学生／一般混成の
予選 2 位「M. D. C」に 1 点差で敗退し、予選
のリベンジを果たされた格好で決着。

大会総括として、いずれの部門も見ごたえのある好ゲームの連続でした。
特に今回、協会主催大会では初となる中学生部門が成立し 14 チームが集合。
地元、小山市チーム関係者の皆様には心より感謝いたします。



付帯イベントとして実施した
ドッチディスタンスは多くの
参加チームにお集まりいただいたことにより、各チーム 1 名を
選抜での実施となりました。
日本記録は 1 件、中学 2 年生
女子の部で記録更新されました。

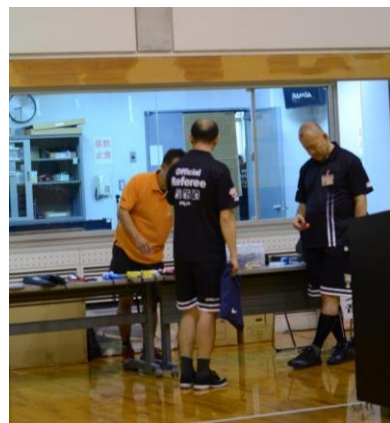


運営面では過去の主催大会でも例がない土曜日開催となったことで、前日準備が金曜日となり主要スタッフ全員が集まらず。

（有給休暇を取って出張するメンバーも！）

さらには時期的に多数のイベントが開催される時期でもあり、本部業務のエキスパートメンバーがやむなく欠席となったことなどから・・・

直前の最終チェック体制に多少不安感がある状況ではありましたが、大きな事故なく無事終了！！



参加全選手に大会協賛企業様より提供いただきました参加賞が配布されました。さらにドッチビーメーカーによる販売コーナーが設置され、イベントとしての彩りが加えられました。



小山市教育委員会との共催事業としたことで、非常に立派な体育館をほぼ、貸切りの状態で使用でき、競技環境として申し分ないものになりました。あらためて関係各位には御礼申し上げます。ありがとうございました。この大会がきっかけとなり今後、小山市を中心にドッチビーの更なる県内普及が進むことを祈念いたします。



最後に、大会開催の数週間前9月9日から11日に発生した「平成27年9月関東・東北豪雨」で被害を受けられました方が本大会参加者および関係者の中にいらっしやっただものと推測いたします。心よりお見舞い申し上げます。